

更生保護 は な び

第 21 号

発行者
大曲地区保護司会
事務所
大仙市神宮寺字蓮沼16-3
大曲地区更生保護
サポートセンター内
TEL 0187 (88) 8425
印刷 (株) 秋田精巧堂

社会を明るくする運動「支え合うまちづくりを進める集い」開催される

まちづくりを進める集い」開催される

第七十五回「社会を明るくする運動」の推進集いが、七月十七日、大曲市民会館小ホールにてご来賓、推進委員ら百五十名が出席し開催されました。初めに、主催者を代表して推進委員長、老松博行大仙市長の代理として舩



舩谷大仙市副市長あいさつ

谷祐幸大仙市副市長が「皆様には日頃から犯罪や非行の防止をはじめ、子どもの健全育成、保護観察による立ち直りへの支援活動などにご尽力いただいております、敬意と感謝を申し上げます。本日の会が犯罪のない明るい社会の構築に向けた意識の高揚と連帯感の醸成につながり、今後の活動の一助となれば幸いに存じます」とあいさつがありました。

続いて、大会会長の藤原正吾大曲地区保護司会長が「刑法犯罪数が二年前に十九年ぶりに増加に転じたことや、依然再犯率は高位のまま推移していることは、私共にとって看過できない事実であり、意を新たに所要活動への取組に努めたい」と述べました。

そして、富田潤一秋田保護観察所長から舩谷副市長と美郷町の木村住民生活課長へ内閣総理大臣のメッセージが伝達されました。



佐川大仙警察署生活安全課長あいさつ

また、来賓を代表し、佐川直幸大仙警察署生活安全課長より、管内の犯罪等に係る報告と、地域の皆さんと更なる連携を図りながら犯罪の起きにくい社会づくりとともに地域の将来を担う少年の非行防止を推進していきたいとのあいさつをいただきました。



藤原大会会長あいさつ

次に、昨年の第七十四回社会を明るくする運動に、大仙市と美郷町の小学校から応募された作文の中から「秋田県優秀賞」を受賞された大曲南中学校一年（当時角間川小学校六年）の武部利音さんから「相手を思いやる気持ちと許す心」と題して作文の発表をさせていただきました。その中で武部さんは「人間の心にあるものの中で一番美しいものは、許すという気持ちなのよ」という劇団四季のミュージカル「エルコスの祈り」のセリフが一番心に残った。「許す」という気持ちをもちたい、優しい社会、温かい社会になっていくと思うので私も温かい心をもって、さらに良い社会になるように頑張っていきたいと発表しました。

この後、曹洞宗月宗寺住職（能代市）の袴田俊英氏より「社会と世間を生き直す」と題し講演をいただきました。日本でも自殺率の低い徳島県旧



武部利音さんの作文発表

海部町のコミュニティの特性を紹介。その中で、多様性を認め合い、よそ者を排除せず、他の人と違っていることを許し、悩み事はみんなの前で話すという風土が旧海部町の自殺率の低さにつながっているとし、故に情報はみんなが共有すると危機回避力になる。しかし、今は怖いから情報を出してはいけな社会になってしまった。この背景には「私は誰も助けない」という考え方があ。この考え方が人の間違いを許さない社会を作り出してしまっている。だからこそ、本日の大会で生きづらさの本質を言葉にしなくても分かってもらえる機会にして欲しいと熱く語ってくださいました。まさに社会を明るくする運動の原点を見つめ直す講演となりました。



富田秋田保護観察所長の講話



袴田俊英さんの講演

その後、記念演奏として大曲グリーンクラブによる男声合唱が披露され、魅力的な歌声に場内は感動のうずには包まれました。

最後に、富田秋田保護観察所長から本日の会の講評と「犯罪からの立ち直りとは生きづらさを乗り越える」をテーマに日本の犯罪情勢の現状分析と再犯防止の取組などについて講話をいただきました、閉会しました。



松田美郷町長に伝達



舩谷大仙市副市長に伝達

7月初旬の総理大臣メッセージ伝達



協和小・中学校でのあいさつ運動

内閣総理大臣メッセージ

第75回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、多くの方々の御賛同・御協力を得て、今年で75回を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会の中での“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。また、過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。悩める方々に寄り添い、互いに相手を受け入れることが、安全で安心な明るい社会の実現につながります。

こうした観点から、私たちが暮らす地域では、保護司や協力雇用主を始めとする「更生保護ボランティア」の皆様が、社会復帰を目指す人々を身近で支え、その再出発を助けています。政府においても、再犯防止のための就労支援、保護司等との連携強化、町ぐるみの防犯活動の促進などに取り組んでいます。

この運動を通じて、より多くの国民の皆様へ、立ち直り支援の活動を知っていただき、協力の輪が広がっていくことを期待いたします。併せて、「人は変えられる」と信じ、それを待つことの大切さについても、御理解をいただければ幸いです。「幸福の黄色い羽根」のもと、多様な背景を持つ人々が、理解し合い、支え合うことによって、犯罪や非行のない明るい地域社会が実現するよう取り組んでまいりますので、国民の皆様のお協力をお願い申し上げます。

内閣総理大臣

石破 茂



大曲グリークラブ記念演奏



イオン大曲店での街宣活動



四ツ屋小学校でのあいさつ運動



第75回社会を明るくする運動
ポスター

編集後記

初秋の候、第二十一回目の会報を発行することができました。多くの皆様のご協力に心から感謝致します。

さて、今年の大曲の花火も本当に素晴らしいものでした。夜空いっぱいに咲く大輪の花の美しさはもちろんのこと、一発一発に込められた職人たちの技とその心意気に強く胸を打たれました。花火は一瞬で消えてしまふはかなさを持ちながらも、その瞬間に立ち会った人々の心を照らし、励まし、思いを共有させてくれる力があります。まさに「人と人をつなぐ光」であると感じました。

更生保護の活動も、少し似ているところがあるかもしれませんが、努力の成果はすぐに見えないこともありますが、相手の心に小さな光をともしることができれば、それがやがてその人にとっての大きな希望につながっていくはずです。花火の一瞬の輝きが人を勇気づけるように、自分自身の取り組みが誰かを前へと進ませる力になればと思っています。

誰かにとっての「希望の灯り」を絶やさないように精進する日々です。(編集委員 記)

新任保護司紹介

令和七年七月一日付



田口 穂 積氏
(大仙市大曲西根)



小柳 悟氏
(大仙市太田町)

これからよろしく申し上げます。

退任された保護司

令和七年六月三十日付

● 今野 幸 悦氏

(大仙市蛭川)

平成九年七月一日就任

ご尽力いただきましてありがとうございます。